

2021年6月1日(火)晴れ、前日は真壁の旅館に宿泊して、朝一番バスで昨日ゴールした旧筑波鉄道酒折バス停に向かう。

今日は関東ふれあいの道指定コースを通らず、薬王院から歩いて、鬼が作林道を交差して、そのまま頂上を目指す筑波山登山の一般コースを歩く事にした。昨日歩いて来た鬼が作林道をまた途中まで戻るのは、何としても魅力が無いからだ。

このコースは、筑波山男体山・女体山を登ってゴールとなり、⑩筑波山巡りから旧参道へのみちに繋がる。



⑩筑波山頂めぐりのみち案内板、旧酒寄駅(首都圏自然歩道連絡協議会)



「⑩筑波山頂めぐりのみち」



宿の前「下宿バス停」から7時7分発のバスで、昨日下山した旧酒寄バス停に向かう



車窓から見た筑波山、今日も天気は上々だね



昨日下山した旧筑波鉄道酒寄駅でバスを降りる



酒寄の集落を通り抜けて筑波山に向かう。正面右は筑波山



昨日下って来た馬頭尊の碑を見て左折する、関東ふれあいの道道標もそばにある



薬王院の山門を潜り、本堂にお参りしてから出発しよう。



「椎尾山薬王院」 寺の脇から筑波山観光協会案内のコースを歩く



登山道は最初ごつごつした難所のように見えるが、道標通りに行けば大丈夫(標高 190m)



この道標、山頂までの距離と現在地の標高が示されているから、参考になる



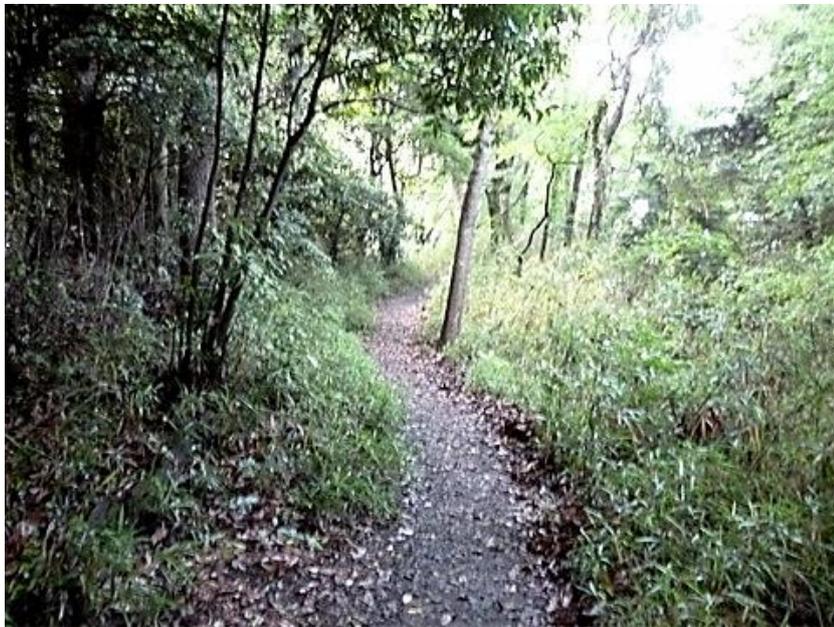
標高 420mに達すると、関東ふれあいの道に通じる鬼が作林道と交差する



林道を横切ると、強烈な登りが待っていた。写真では緩やかにみえるけれど



木道には手摺が付いていたので、頼りにする。木道は足場が決められてしまうので、いやだ



標高 700mの小ピークの肩に達すると、やっと緩やかになった



筑波山周遊探索路に出た、頂上が近い。今歩いてきたコースは「薬王院コース」だという



筑波山男体山と女体山の肩を御幸ヶ原と云い、ケーブルカーと売店とトイレがある



ここから女体山 876mまで、緩やかに登って 20 分程で着く



途中ガマの油売りで有名な、「ガマ石」の前を通る



「筑波山頂上(876m)」 東経 140.6 度、北緯 36.13、一等三角点が建つ関東の名山である



折角ここまで来たのだから、記念に一枚パチリ



頂上から南に目を転ざると、これから歩く⑪旧参道へのみちが見える



北に目を転じると、はるばる岩瀬駅から歩いて来た雨引観音、加波山の山並みが、なつかしい



女体山からみた男体山



一旦御幸ヶ原に戻って、今度は男体山に登る



頂上には男体山御本殿がイザナギノミコトを祀る



男体山御本殿



再び御幸ヶ原に戻って「⑩筑波山頂巡り」の項は完となる



「男体山」古くから山岳信仰の山として親しまれてきた。関東では西の富士山、東の筑波と呼称される。関東の名峰として万葉の頃から親しまれている。

”筑波嶺の 嶺より落ちる男女川 恋ぞつもりて 淵となりぬる”

(陽成院)

[参考タイム] 真壁下宿(7:07)→旧酒寄バス停(7:25-7:30)→薬王院(8:05-8:10)→林道出合い(8:50-9:00)→筑波山女体山(10:25-10:45)→御幸ヶ原(11:00-11:15)→筑波山男体山(11:25-11:30)→御幸ヶ原(11:45 昼食) 以降⑩に続く

この項完

「関東ふれあいの道(茨城)⑩筑波山頂上から旧参道へのみち」に続く